

# 研究彙報 (昭和63年1月～同12月)

わが国の律令国家を考古資料によって考える試みのひとつとして、主として宮殿や寺院の屋根を葺いた瓦をとりあげ展観した。

## ●特別陳列 (▽印は毎年の定例的な陳列)

▽鉄斎 一月五日(火)―二月七日(日)

新館九号室 担当・金沢 弘

和漢の聖賢から身近な人物に至るまで、よく特徴をとらえて描いた鉄斎の人物画を中心に展観した。

▽十二天画像と山水屏風 一月五日(火)―二月七日(日)

新館十一号室 担当・泉 武夫

院政期の耽美的嗜好に叶った、温雅で装飾性にあふれた十二世紀仏画の傑作「十二天画像」と、平安時代屏風絵唯一の遺例である「山水屏風」を陳列した。

▽高台寺時絵と南蛮漆器 一月五日(火)―二月七日(日)

新館十五・十七号室 担当・灰野昭郎

近世の時絵を代表する高台寺時絵と、ヨーロッパへ輸出された南蛮漆器を陳列した。

▽古筆と手鑑 二月九日(火)―三月十三日(日)

新館十三号室 担当・下坂 守

手鑑「葉塩草」を中心に、古筆・手鑑の名品を陳列した。

▽人形 二月十八日(木)―三月十三日(日)

新館十四・十七号室 担当・切畑 健

雛祭にちなみ、京都で製作された各種の代表的な人形を陳列した。

高松宮妃殿下ご寄贈御装束 三月十八日(金)―四月二十四日(日)

新館十三・十四・十七号室 担当・切畑 健

前年に、高松宮家より文化庁に寄贈された有栖川宮家伝来の装束類を陳列した。

袋中上人と檀王法林寺 四月二十八日(木)―五月二十九日(日)

新館十三・十七号室

袋中上人(一五五二―一六三九)に関わる資料を、主として檀王法林寺蔵の作品を中心に陳列した。

## ●特別展覧会

シーボルトと日本

会期 三月二十九日(火)―五月五日(祝)

会場 京都国立博物館本館

主催 京都国立博物館・朝日新聞社・ライデン国立民族学博物館

日本とオランダの修好三百八十年を記念して、ライデン国立民族学博物館蔵のシーボルトのわが国における収集品を中心にその関連資料約一六〇点を展観した。

仁和寺の名宝

会期 五月二十四日(火)―六月二十六日(日)

会場 京都国立博物館本館

主催 京都国立博物館・仁和寺・京都新聞社・日本経済新聞社

仁和寺の開創千百年を記念し、同寺伝来の名宝一二十六件を展観した。

大エジプト展

会期 八月二日(火)―九月十一日(日)

会場 京都国立博物館本館

主催 京都国立博物館・ドイツ民主共和国ベルリン国立博物館・日本テレビ放送網・読売新聞社

ヨーロッパにおけるエジプト美術の三大コレクションのひとつであるドイツ民主共和国ベルリン国立博物館(ポード博物館)の収蔵する作品一四八件を展観した。

畿内と東国

会期 十月四日(火)―十一月二十日(日)

会場 京都国立博物館本館

主催 京都国立博物館

龍泉居蒐集 高麗・李朝の陶磁 七月六日(水)―八月十四日(日)

新館三号室

故笠川正誠氏(龍泉居)が蒐集、当館に寄贈された高麗・李朝の陶磁計七十七点を陳列した。

## ● 出版刊行

『シーボルトと日本』 特別展覧会図録 昭和六十三年三月

昭和六十三年三月二十九日から五月五日までを会期とした特別展覧会「シーボルトと日本」の概説および各個別解説付総目録。B5版、総頁数二一八頁、収録図版原色二三六図、単色二〇九図。頒価千八百円。

『仁和寺の名宝』 特別展覧会図録 昭和六十三年五月

昭和六十三年五月二十四日から六月二十六日までを会期とした特別展覧会「仁和寺の名宝」の概説および各個別解説付総目録。B5版、総頁数二一八頁、収録図版原色六九図、単色二〇九図。頒価二千円。

『大エジプト展』 特別展覧会図録 昭和六十三年八月

昭和六十三年八月二日から九月十一日までを会期とした特別展覧会「大エジプト展」の概説および各個別解説付総目録。変形26×21版、総頁数二九八頁、収録図版原色二二三図、単色一七四図。頒価二千二百円。

『畿内と東国―埋もれた律令国家―』 特別展覧会図録 昭和六十三年十月

昭和六十三年十月四日から十一月二十三日までを会期とした特別展覧会「畿内と東国―埋もれた律令国家―」の概説および各個別解説付総目録。B5版、総頁数二四六頁、収録図版原色三四四図、単色七二三図。頒価千円。

『龍泉居蒐集・京都国立博物館蔵 高麗・李朝の陶磁』 昭和六十三年三月

京都国立博物館が所蔵する、故笠川正誠氏(龍泉居)の蒐集にかかる高麗・李朝の陶磁七十七点すべてを収録した。B5版、総頁数一五二頁、収録図版原色九図、単色一五三図、頒価四千円。

『十二天画像と山水屏風』 昭和六十三年一月

新春に随時開催する特別陳列「十二天画像と山水屏風」の展覧に資するため作成した図版目録。変形24×25版、総頁数八〇頁、収録図版原色四二図、単色二六図。頒価千五百円。

『高松宮妃殿下に寄贈御装束』 特別陳列目録 京都国立博物館 昭和六十三年三月

昭和六十三年三月十八日から四月二十四日までを会期とした特別陳列「高松宮妃殿下に寄贈御装束」の解説付き目録。B5版、総頁数一三頁、図版単色二九図。頒価三百円。

『袋中上人と檀王法林寺』 特別陳列目録 京都国立博物館 昭和六十三年四月

昭和六十三年四月二十八日から五月二十九日までを会期とした特別陳列「袋中上人と檀王法林寺」の解説付き目録。B5版、総頁数一三頁、図版単色一七図。頒価三百円。

『京都社寺調査報告』VIII 昭和六十三年三月

当館が昭和六十二年年度に実施した京都社寺調査の報告書。智積院。A4版、総頁数一〇〇頁、図版五七図。非売品。

『京都国立博物館学叢』第十号 昭和六十三年三月

当館職員による研究紀要。論文4篇、作品研究1篇、資料紹介2篇、研究随想、修復文化財関係銘文集、研究彙報、館員執筆一覽、英文概説などを収録。A4版、総頁数一九二頁、図版原色七図、単色二五七図。頒価三千円。

『研究発表 絵巻の諸問題』 仏教美術研究上野記念財団助成研究会報告書第十六冊 昭和六十三年三月 昭和六十二年四月二十日に行われたシンポジウムの報告。A4版、総頁数四八頁、図版単色三一図。頒価九百円。

## ● シンポジウム

研究発表と座談会「仁和寺の仏教美術」

主催 仏教美術研究上野記念財団助成研究会(代表 上山春平)

期日 六月二十日(月)

会場 京都国立博物館

参加者 一四〇名

研究発表 孔雀明王像(泉武夫)、阿弥陀三尊像(紺野敏文)、細字華嚴經(赤尾栄慶)、北院薬師如来像(伊東史朗)  
座談会(司会 伊東史朗)

## ● 国内における調査研究

金剛峯寺蔵中尊寺経を中心とした中尊寺経に関する総合研究 担当 上山春

平ほか

平安京条坊設定に関する復原的研究 担当 森郁夫ほか

奈良・平安時代の武装形像の形式に関する基礎研究 担当 伊東史朗

東洋染織美術史上における経錦から緯錦への転換に関する考察 担当 切畑健

近世初期漢画諸派における朝鮮絵画からの影響について―雲谷派・曾我派の場合― 担当 山本英男

銅鐸群の変遷 担当 難波洋三

万福寺の文化財調査 担当 西上実ほか

### ●海外における調査研究および出張

伊東史朗 一月二十三日―二月六日(行先 東ドイツ) 古代エジプト美術調査。

狩野博幸 二月二十日―三月五日(行先 オランダ) ランデン国立民族博物館等を訪問し、近世・中世絵画の調査研究を行う。

泉 武夫 二月二十日―三月五日(行先 オランダ) ランデン国立民族博物館等を訪問し、近世・中世絵画の調査研究を行う。

阿部憲司 三月十四日―三月二十日(行先 アメリカ合衆国) 特別展事前調査およびアメリカ合衆国内博物館事情調査。

西上 実 十月十五日―十月十九日(行先 中華人民共和国) 故宮博物館所蔵の東洋美術品の調査研究。

灰野昭郎 十月十八日―十月二十九日(行先 カナダ、アメリカ合衆国) 昭和六十四年度特別展「18世紀の日本美術」(仮称)の出品文化財事前調査。

泉 武夫 十一月十六日―一月一日(行先 アメリカ合衆国) 「大名美術展」の出品文化財に随伴。文化庁併任。

金沢 弘 十一月二十九日―十二月四日(行先 大韓民国) 昭和六十三年年度特別展「畿内と東国」の返却文化財随伴および韓国国内所蔵文化財の調査研究。

難波洋三 十一月二十九日―十二月九日(行先 大韓民国) 昭和六十三年年度特別展「畿内と東国」の返却文化財随伴および韓国国内所蔵文化財の調査研究。

西上 実 十一月二十九日―十二月九日(行先 香港) 香港中文大学開催の

明代絵画学術研究討論会出席および故宮博物院所蔵明代絵画の調査研究。  
若杉準治 十二月十日―二月七日(行先 アメリカ合衆国) 「大名美術展」の出品文化財に随伴。文化庁併任。